

第1回講座

自然の大切さを考える

2016パークレンジャー養成基礎研修

2016/4/10

NPO法人日本パークレンジャー協会



1. 自然とは?

自然 (しぜん / Nature)

- * 人間を含めてこの世の全ての万物・宇宙
- * 人の手の加わらない この世のあらゆるもの
- * そのものに本来備わっている性質、天性、本性
- * 他の力に依存せず自ら生まれ成長・変化・消滅するもの

自然 (じねん / 古来からの日本語)

自(おの)ずからの性質に従って 然(しか)るべくあるもの

2. 西洋的自然観 vs. 日本的自然観

■ 西洋的自然観

- * 自然は神様が作った / その身代わりが人間
- * 神様 → 人間 → 自然
- * 人間が中心で 自然を物と見る・自然は克服すべきもの・資源

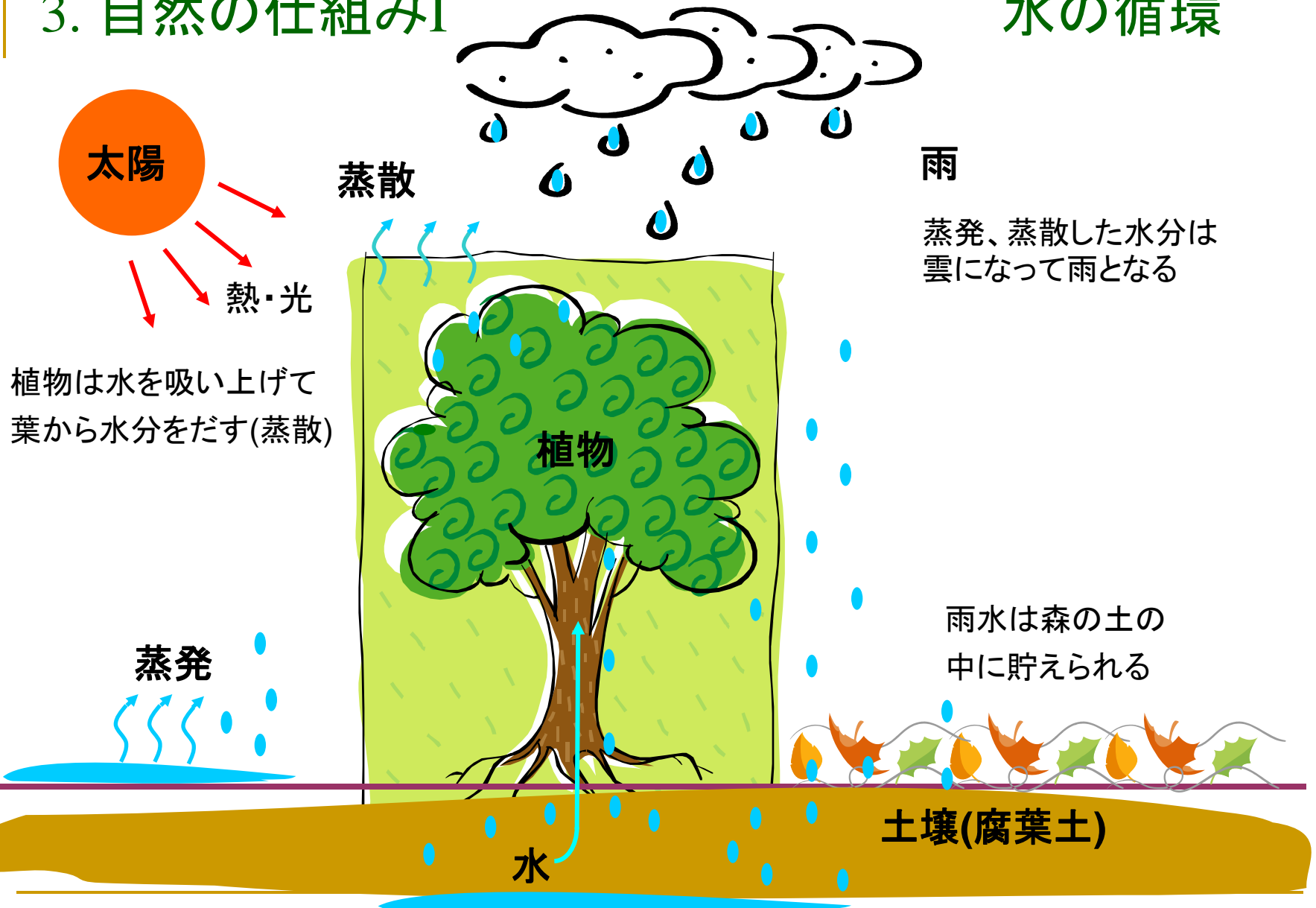
■ 日本的自然観

- * 自然の力に畏怖や尊敬を感じる
自然の恵み・災害脅威・不可思議・生命力 → 自然の中に神様
- * 人と自然はつながって生きている
生かされている/自然の中に生命のつながりを感じる / ご先祖様
→ 共生・感謝
- * 人と自然の一体観 (人も自然の一部)
自然を物と見ない / 人も自然の一部 「あるがまま」 → 自然「じねん」

自然を物として見る vs 自然をあるがままに見る

3. 自然の仕組みI

水の循環



植物は水を吸い上げて
葉から水分をだす(蒸散)

雨

蒸発、蒸散した水分は
雲になって雨となる

雨水は森の土の
中に貯えられる

土壌(腐葉土)

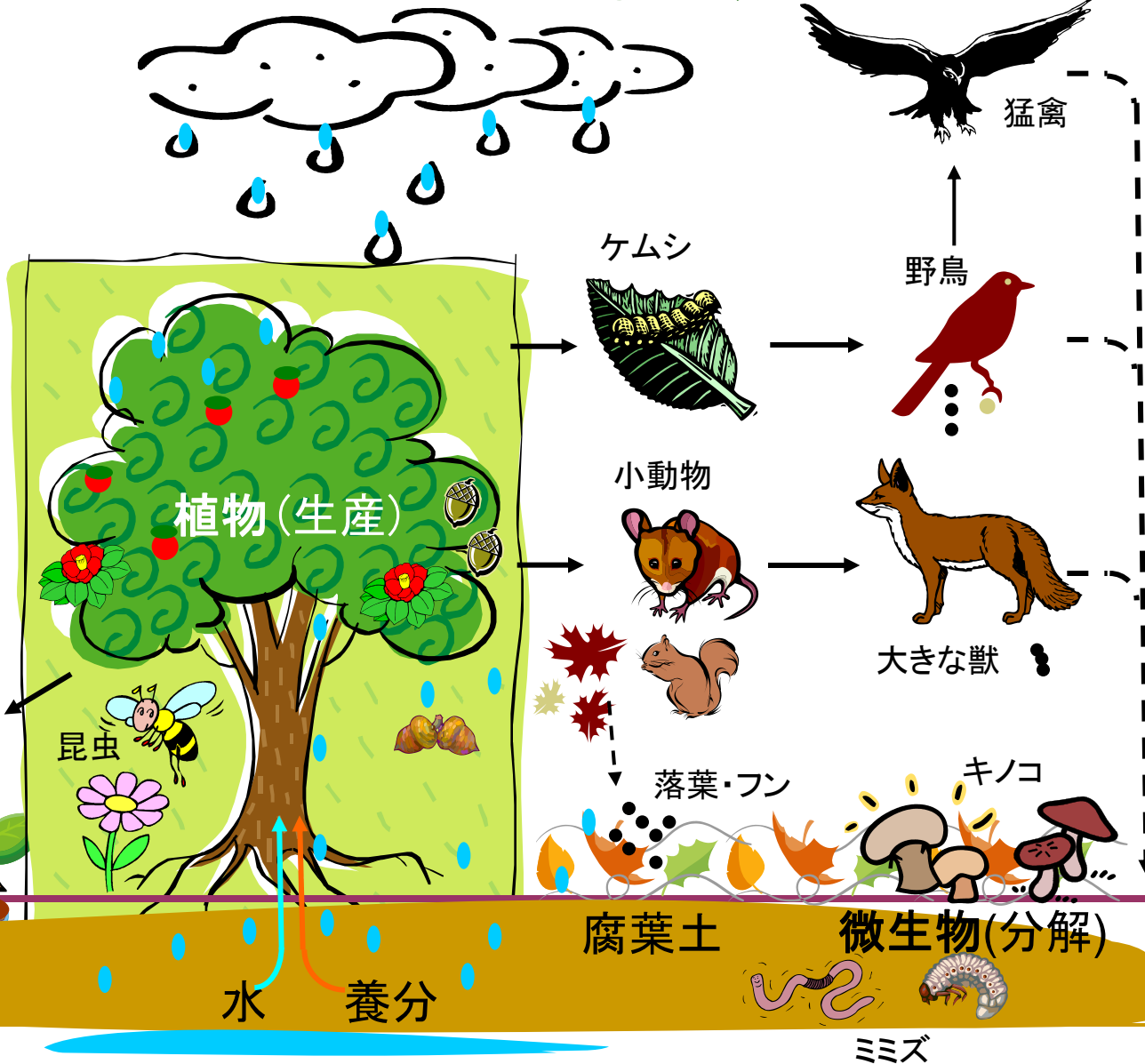
水

水は地上と空を循環している

4. 自然の仕組みII 生きもののつながり

太陽

植物の光合成
水+CO₂ → 糖+O₂



生きものはつながって生きている

5.-1 自然の大切さ (物として)

- 人(生きもの)は自然と言う仕組みの中で生きている
 - 自然はさまざまな生き物のつながりで成り立っている
- 人(生きもの)は自然があるから生きていける
 - 水、空気、衣・食・住 (基本は植物から) 燃料、医薬、産業資源...
- 人は自然を観察して色々なものを作りだした
 - 「科学・技術・文学・音楽・絵・・・」
- 生命誕生の歴史 : 「生命の起源 → 地球 → 宇宙」
 - 私たちはどこから来たのか? ルーツ(生命の誕生)は共通の祖先

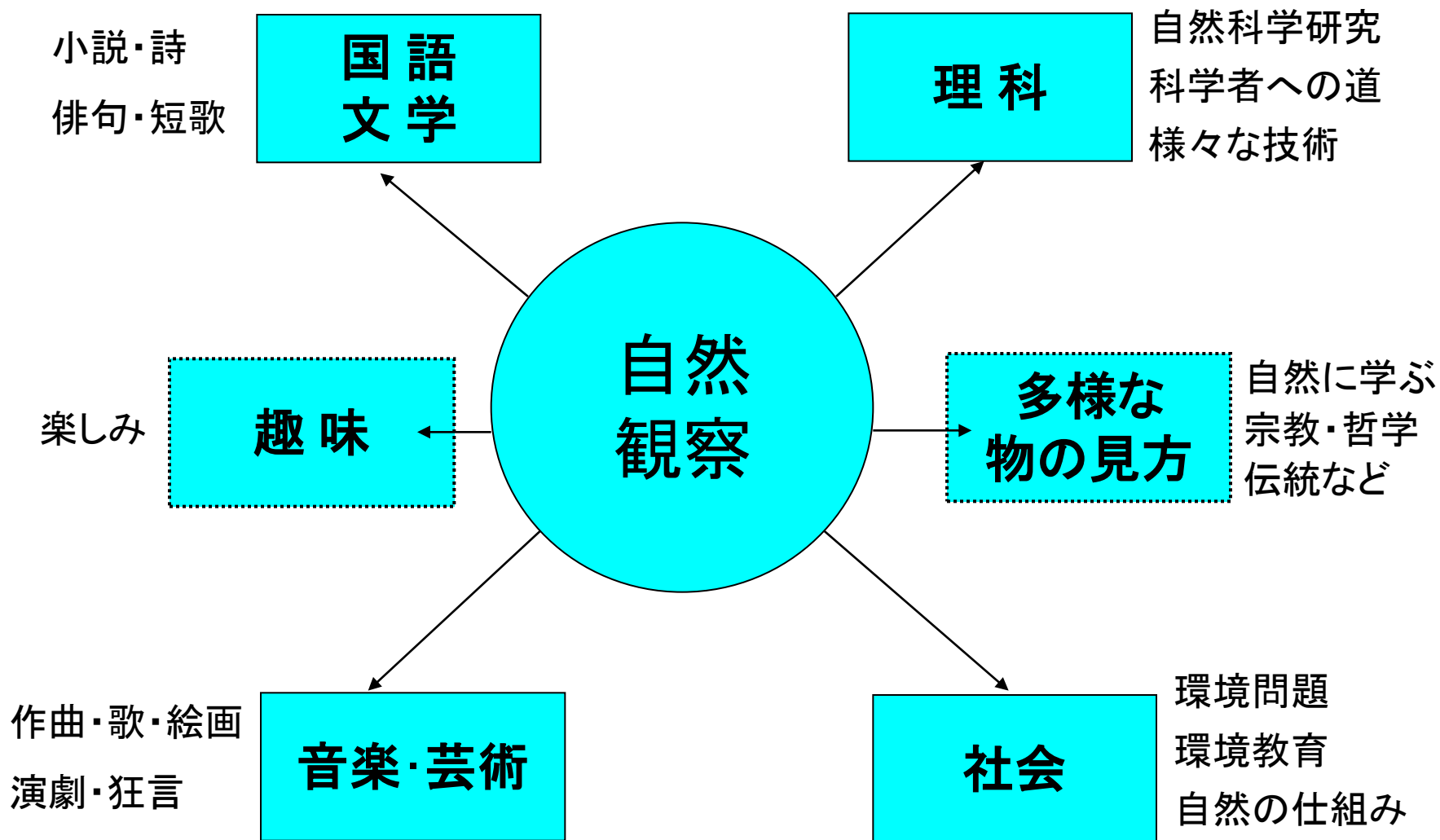
人は自然とともに生きている

5.-2 自然の大切さ (形のないもの)

- **自然へ畏れ・尊敬** → **自然の中に神様**
 - 自然の恵み・災害、不可思議、生命力
- **自然に生かされている、命のつながり、ご先祖様** → **自然に感謝**
- **自然から様々な文化 宗教、哲学、芸術・芸能...** → **多様な物の見方**
- **自然(森)は人に心の癒しを与える** → **人は森の生き物**
 - 人は自然と触れ合うことで健康を保つ (不足すると自然欠乏症候群)
- **自然 (森や里山)が人と人をつなぐ** → **人と自然がつながり人と人がつながる**
 - 結・マタギ、伝統・祭り、故郷
- **日本的自然観**
 - 人と自然の一体観: 自然を物として考えない → **自然「じねん」あるがまま**

自然を物としてだけではなく「心」で見る

6. 自然を見ることから生まれたもの



人は自然からあらゆることを学んできた

7. 私たちの祖先

JT 生命誌絵巻より

現代の色々な生きもの



地球上の全ての生きもののルーツは38億年前の共通の祖先

8. 私にとっての自然の大切さ

● 自然が教えてくれた

- * 虫取・魚釣り・木登り...自然の遊びは冒険心や恐怖心を教えてくれた
- * 自然観察は自然の不思議や面白さを教えてくれる → 楽しみ
- * 生きもののつながりや生命の大切さを教えてくれる → 感謝
- * 自然への関わりが自分の生き方を示してくれる → ボランティア/生き甲斐

● 自然は人と人を結びつける

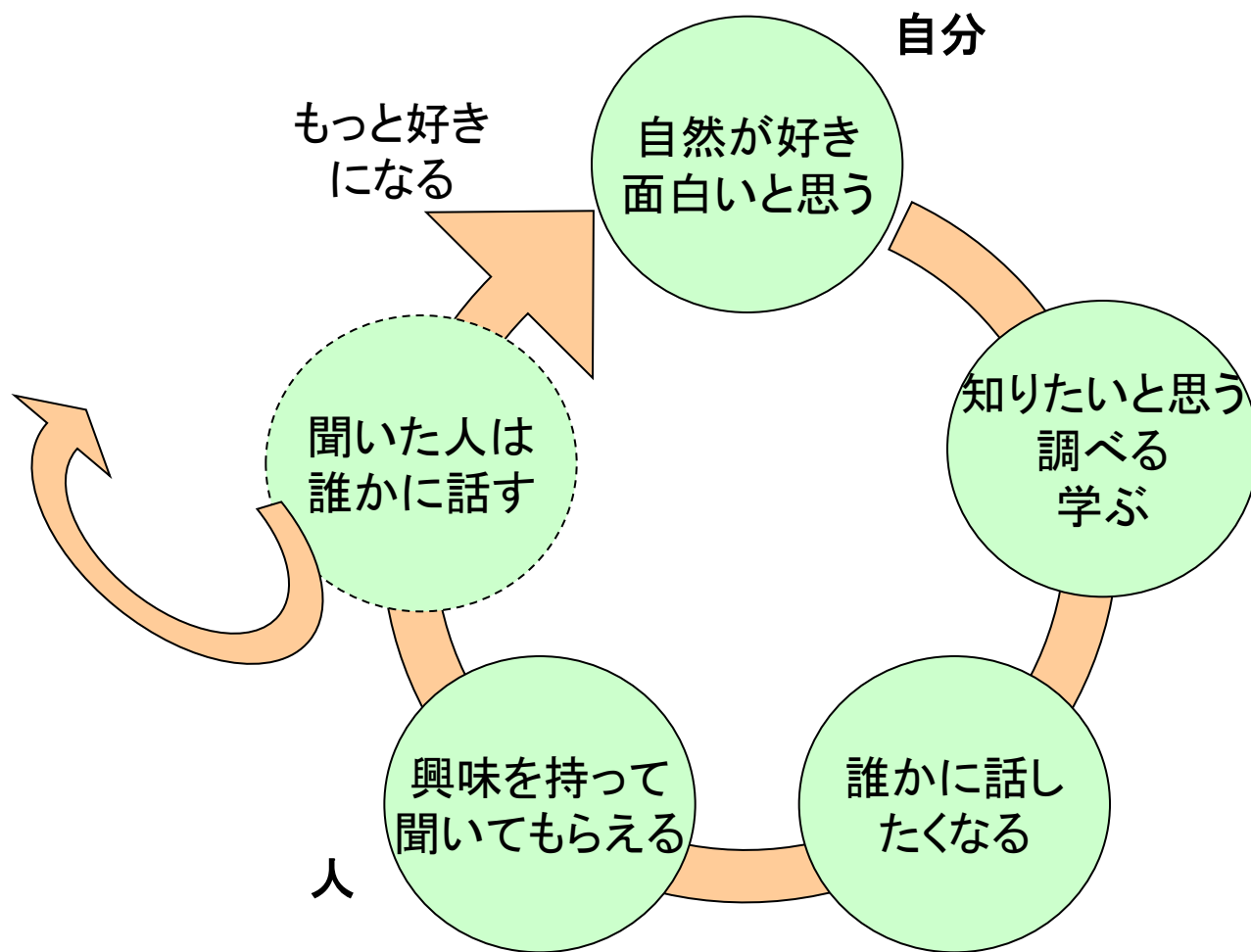
- * 自然の活動を通して人のつながりが生まれる
子どもたち、参加者、活動の仲間 (ボランティア)……

● 自然は田舎を思い出させる

- * 家族、友だち、春の野・夏休み・遊び、秋の実り、祭り、冬の寒さ

今の自分は自然とのかかわり無しには考えられない

9. どのように自然のことを伝えるか？



「自然に興味を持つ → 学ぶ → 話す → 更に学ぶ」 サイクル

10. 自然の大切さを伝える

体験する → 自然を知る → 自然を大切にする
(楽しむ) (理解する) (行動する)

人は自然の美しさや不思議さ、面白さを発見したり
楽しい経験をすることをくり返して自然のことを知る

そして自然が自分の回りにあることを実感できるよう
になって始めてその大切さに気づき守ろうと言う気になる

身体で覚えたことは記憶に残る → 理解 → 判断・行動